

「幸福」ってなんだろう……
 「幸せ」ってなんだろう……
 人間は、生まれてから死ぬまで
 この「幸福」について考える……
 だれもが「幸福」になるために
 自分自身をまもるし、また他人に
 もまもってもらいたいです。
 男の幸せ、女の幸せ、妻の幸せ、
 夫の幸せ、母親の幸せ、父親の幸
 せ、子供の幸せ……。



これくらいよく使われながら、
 これくらいあいまいな言葉もない
 ようです。
 女性は、男性と違って、日常の
 こまごましたことや、自分をと
 りまく世界に興味をもつように、幸
 せの感じ方も強く、幸せに敏感な
 のではないでしょうか。
 成長するにしたがって、女性の
 幸せは、愛する男性と幸せな結婚
 をし、平和で明るい家庭をもつこ
 とがいちばんの幸せなんだ……と
 思うようになる……。

女性は結婚後、次第に娘時代の
 ような愛をもたなくなり、子供が
 生まれると、ひたすら我が子だけ
 を溺愛し、それが女性愛の美しさ
 だと自分をごまかし、自己陶醉し
 てしまうのです。それが母として
 の幸せだと思ふ様になり、しかし、



子供が成長し、離れてしまうと、
 期待した何らかの報酬さえ得られ
 ず、支えていた幸せがなくなり、
 もう不幸のどん底だと思ひこんで
 しまう……。

このまま変らないで、つづいて
 ほしいような状態が幸せであり、

生涯生きがいを感じつづけるた
 めに、自分自身が一生かけて続け
 られる仕事や、研究、趣味、運動
 をもつこともいいし、他人から与
 えられた幸せは、永つづきしませ
 ん。
 自分で努力して得た幸せは、そ
 れだけ満足の度も強いものです。
 幸せは、まず生きていくことの
 喜びであるように、健康であるこ
 と、それは幸せの第一の条件です。
 病気になるまで、はじめて健
 康のありがたみがわかるように、
 人は不幸になつてはじめて「幸せ」
 だったことを感じるものです。

またそれに満足することが幸せで
 すが、それは自分の考え方ひとつ
 で、人間の欲というものは限りな
 いものです。
 何が幸せか……
 何が不幸せか……
 ……
 かたちのあるようで、かたちの
 ないもの……
 それは、やはり、それぞれの人の
 の心の中にあるものではないでし
 ょうか。
 「幸せ」をつかむために、かた
 ちのないものを追いかけて乍ら、毎
 日、毎日、働き、生活をし、「幸せ」
 を求めて生きてゆく……
 「幸せ」とは、結局、心の
 問題なのではないでしょうか。
 「幸福」ってなんだろう……
 「幸せ」ってなんだろう……
 「幸せ」ってなんだろう……

石井ふく子さんは、本校高女昭
 和二十一年卒業生で、長年プロデ
 ユーサーとして、TBSの東芝日
 曜劇場を担当しており、その他、
 演出家として各劇場で活躍してお
 ります。
 ここ数年橋田寿賀子さんのコ
 ンビの芸術座公演は、石井ふく子
 さんの協力もあり、同窓会観劇
 会を催しております。
 写真は昨年六月四日の観劇会
 「嫁しゅうとめ」(芸術座)

泉

第23号
昭和59年10月1日発行

発行所 東京都中野区本町
6-38-1
郵便番号 164
電話 (03) 381-0196
振替口座 東京9-188318

東京文化学園同窓会

発行人 白井スエノ
編集人 青木純子
印刷所 篠塚印刷株式会社
(非売品)

幸
や
つ
こ
ろ
の
こ
ろ

あ
い
ま
い
ま
い
ま
い

特集

新入会員の声

社会人一年生になって



短大卒
奥山裕子

三月に学友と共に母校を卒業し、早くも五か月が過ぎようとしております。

この五か月間の環境の変わり方は皆一様に、たいへんなものなのではないかと思えます。時々、短大時代の友だちと電話で連絡を取り合っていますが、社会人になって厳しい現実を知り、多かれ少なかれ、みんな身体にも心にも影響を受け、疲れがたまってきている時期のように思えます。私自身も、この五か月、とてもたった五か月とは思えないような、たくさんの事がありました。

私は某食品メーカーに入社しました。その会社ではまだ手のつけたことのない新事業の販売促進の課に配属されました。その苦労は私にとっ、今まで味わったことのないたいへんなものでした。営業の仕事のたいへんさ、企業の利

潤追求のシビアな面、社内の人間関係のむずかしさ、お客様の立場とメーカーの社員である立場とのずれの違いのギャップなどが、どんどん私の目の前に現実としてせまってくる状態に身体も疲れ、涙を流して転職を考えた時も何度かありました。親と口論して反発した時もあります。

しかし、誰が何といっても、自分で決めて自分で入社した以上やり通すしかないように思えます。同期入社と同僚が一人二人とやめていく姿を見て、何が一番正しいか、会社に残るのが一番の道なのか、会社にもあります。しかし現実には幸福な事にほんとうになんでも話せる友が何人かいます。その友だちたちと、お互いに、慰め合いながら、せめてもう少しがんばってみようと思っています。

同窓会に望むこと

1 社会に接して



短大卒
五十嵐幸子

卒業後早くも五か月目を迎えようとしています。改めて月日の過ぎ行くことの早さを痛感しています。

社会という大きな世界に出て、その厳しさを体験しています。

私の仕事は、営業部に属する開発企画関係ですが、その中で物を作ることに楽しさと共に、苦しさも味わっています。

私の仕事に対する精神として、母校の「3H」を理想としています。在校の時よりも、卒業してからも、その精神の素晴らしさを感じています。というのも、HEAD・HANDSの1つでも欠けてしまえば、本当に納得のいく製品を造り上げることが出来なからです。これからも、3H精神を大切にしていきたいと思えます。

同窓会に希望することとしては、女性らしい視野を持ち、その世界を広げるきっかけとなるものであって欲しいと思います。

具体的に挙げれば、現在女性の生き方・考え方・発想等広い分野において注目されています。そこで、女性ならではの意見交流会・講演会または、創作展等、文化的な意味の深いものであって欲しいと願っています。

また、多くの同窓会員の集う、「和」のあるものであって欲しいと思います。私は、本校において、素晴らしい

教育を受けたことを幸福に思っています。

大切にしたい和の精神



短大卒
奥津美穂

高校、短大と五年間を東京文化学園で過ごし、私は今、社会人一年生。短大卒業と同時に得た資格を生かし、私は病院の栄養士として働いています。無我夢中で、一日があっという間に過ぎていきます。

仕事も勿論たいへんでしょうが、何といっても人間関係がなかなか厳しいようで、これは多くの人が感じているに違いありません。自分を良く見せようと思わずに、私は私なりに素直な気持ちで人と接するようにしています。上司につくった自分を見せて良く思われるよりも、普段一緒に働いている仲間から信頼されることの方が大事なように思うのです。仕事が能率良く運ばれるためにも、仲間の和というものはたいへん重要に思われます。

これは短大時代にも強く感じました。調理実習や実験と普段の授業の中においても、仲間と協力しあう場があり、学園祭、クラブ活

動とみんなでもとまって一つのことをやりとげるといいうことも多くありました。学生時代に多くの人と接する機会をもてたことは、たいへん良かったと思っています。仲間と一緒に熱中できるものがあり、その時はたいへんな思いをしても、やり遂げたあとの喜びは何ともいえません。

学園の栄養士として



短大卒
糸野京子

私は、今年の四月から、今まで学生として通っていた東京文化学園に、幼小給食の栄養士として働いています。調理師五人と栄養士二人で幼稚園のおやつ・給食、小学校の給食をがんばって作っています。未熟な私ですから失敗を数えられないほど多くして迷惑をかけてしまい、落ち込むことが多い

毎日です。でも、時々子供達の食
べている様子を見て回り、量、好
み、盛り方など観察している、
がんばらなければと思うのです。

もう一つ私にとつて大切なのは
友達です。互いに失敗したことな
ど話してはげまし合い、また、一
緒に遊んでいると、「私だけ失敗
して落ち込んでいる」と勇気
とファイトが出てきます。でも会
う友達は決まってきたてしまい、学
生の頃の様に多くの友達と会うこ
とができなくなりました。きつと
同窓会の時しかないとはいえず。
そして何年も過ぎていってしま
かしいものだと思えます。私は、
そんな同窓会を大切だと思います。

学園内に就職したので、他の友
達より早くいろいろな情報が入り
やすくなります。それを友達に知
らせて、一人でも多く参加しても
らえるように、できるだけ協力し
てみんなに会うことを楽しみにが
んばりたいと思います。

素晴らしい学生時代

短大卒

笹木靖子



短大を卒業し社会人になつても
う三か月が過ぎました。毎日学生

と接しているため、学生と社会人
の違いに戸惑っていた毎日でした
が最近やっと先生と呼ばれる事に
も慣れ、社会人という実感が湧き
始めて来たという状態です。まだ
仕事は半人前にも達せず迷惑のか
けっぱなしですがその自分分なり
に一所懸命取り組んで一日一日を
大切に過ごそうと思っています。

私は高校も東京文化なので高校
卒業の時点で同窓会に入会したわ
けですが、まだ学生という事で短
大の2年間は同窓会誌を読むとい
う程度のものでしかありませんで
した。しかし短大も卒業し本当の
同窓生となった今改めて学生時代
を懐かしうと同時に母校を大切
にしたという気持ちが出て来ま
した。正直言ってまだ同窓生とい
う響きにはピンと来ませんが、母
校で働いているので同窓会の情報
も早く回って来ますし、先輩方の
同期会などの様子も拝見出来ま
す。同窓会では同窓生の方と会つて
嬉しい、懐かしい、楽しい気分にな
れる橋わたしになって欲しいと思
うと同時にたくさんの方が集まれ
る場を設けて頂けたらと思つて
います。短大生活の忙しかった二年
間を一緒に過ごしたくさんの思い
出を作った大切な友人も沢山いま
すが、お互いをあまりよく知らな
いまま卒業してしまつた友人も沢
山います。そんな人達と同窓会を
通して改めていろいろな話が出来
たら……といつも思っています。

初心を忘れずに

医技卒

大沢玉恵



梅雨明けも、もうそろそろとな
つてまいりました。じめじめした
むし暑い毎日よりも、やはりカラ
ッと晴れた青い空が良いものです。
三月に卒業し社会人となつて三
か月。早いもので、すっかり職場
にも慣れ新しい生活のペースにも
馴染みました。しかし、人間とは
怖いもので、慣れてしまうと初心
を忘れがちです。あらゆるものが
新鮮だった四月に比べると、もの
に対する興味や驚きが少しずつ減
ってきているような気がします。

始めの頃はたくさん勉強しよう、
しなければいけないと思つていた
のが、疲れて帰るとやはり勉強す
るのは億劫になつてしまします。
しかし、職場に慣れたということこ
いコール何でも知つている、全て
がわかっているということではあ
りません。

社会に出ると、とかく学歴が重
視されるようです。職場の先輩に
「どこの学校だったの」と聞かれ
ることが多いので感じます。卒業
したからといって、その学校の人
間でなくなつたということではな

く、学生のときよりも更にその学
校の人間として評価されることが
多くなつてきているような気がし
ます。学生の時はまだ学校という
ものに甘えていることができまし
た。けれども、一度そこを出たも
のは全く逆の立場にまわつてしま
う、そんな気がします。

東京文化学園というものが、人
々からどれだけ評価されるかとい
う事は、卒業生一人一人の在り方
にあると思ひます。そういう意味
で、同窓会は私たちの学園のより
一層の進歩に貢献するものであり、
また同窓会員を強く結びつけるも
のであると感じ、一同窓会員とし
て私も頑張つていかなければなら
ないと強く感じております。

母校を誇りに

医技卒

佐藤安紀子



うっとうしい梅雨もそろそろ終
わりに近づき、いよいよ本格的な
夏が真近となりました。
ところで、私も東京文化医技を
無事卒業し、同窓会の一員となる
ことが出来ました。

でき、たいへん嬉しく思つており
ます。先月の二十三日には、初め
で、同窓会活動のひとつでありま
す。観劇に参加させていただきまし
た。私自身、芝居そのものが好き
なだけに、たいへん楽しく観賞す
ることができました。また、この
日、芸術座を借り切つての観劇と
いうことで、左を見ても右を見て
も、みんな東京文化学園を御卒業
なされた方々ばかりで、なんだか
仲間の一員になれたんだ、という
ような、わくわくした気持ちがい
たしました。今後も、同窓会主催
の行事には、出来る限り参加させ
ていただきたいと思つて
おります。

ところで、現在、私は、所沢市
にあります病院に勤務しておりま
す。この病院での、我が母校の評
判はたいへん良いと、聞かされま
した。学校自体の良い悪いという
のは、直接、私たち卒業生を見て
評価されてしまいます。先輩の方
々が築き上げてきて下さいました
伝統や愛校心があつてこそ、現在
の東京文化学園としての輝きがあ
るのだと思ひます。これからは、
この私も母校をいかに輝かせ、ま
た発展させていくかということで
さいではあります。努力させ
ていただきたかと思つております。
今後、我が母校を卒業したこ
とを誇りに、また在学中の方々の
良き手本となれますよう、がんば
っていききたいと思ひます。

東京文化を卒業して



依田晴美 高校卒

もう卒業して五か月になり、やっと落ちついてました。

自由になれたといううれしさであつという間に過ぎて行きました。時々、電車の中で東京文化の制服をみかけては、学校から解放されただんだ、と思っていました。

最近になって、もうあの制服を着ることができないんだと、少しさびしい気がしています。そうなることや、きちんと制服を着ていけばよかったと思います。

在学中は、スカートは長い方がいい、かばんはつぶした方がいいなどと思っていました。しかし今は高校生をみて、どうしてきれいに制服を着れないのかと言いたくなります。

学生のころ、東京文化の風紀はきびしすぎると反発していました。が、今はそれが普通なんだと思います。身なりが悪いと、その人の性格、生活態度が悪いと思われるので、卒業してからは、身なりに一番気をつかうようになりました。最近、学校に行くことができな

いので近況を知ることができませんが、いつまでもいい母校であってほしいと思います。

大学生になって



大久間典子 高校卒

東京文化を卒業して早くも半年が過ぎ、秋の気配を感じられる季節となりました。

私は、総て自主的に行動せねばならない大学生活にも慣れ、自分なりの生活も軌道に乗り、忙しい中、疲れを感じない充実した日々を過ごしています。

大学では、高校までの受身の勉強とは大きく違い、興味ある講義を選択し、積極的に取り組む、自己を向上させていく場です。

私は興味ある事柄について調べたりする大学での勉強が、高校での「五日制」のおかげで抵抗なく溶け込めました。

これが、本当の意味での勉強なのでしょか。多岐に渡って、色々な知識を得ていきたいと思っています。

以前より、多くの自由な時間が与えられた今、私は、読書や友人との交際に、また、貴重な時間を

有効に活用したいと思い、大学内の体育会軟式庭球部に入学して練習に励んでいます。私にとってはテニスの経験も、また、体育部の経験も全くなかったのですが、今はフットで頑張っています。夏休みには、試合出場のために能登にも行ってきました。

色々な場を踏み、新しい経験を積んでいくことによって、違った自分の一面を発見できるかもしれません。

日常生活に於ては、挨拶の大切さを痛切に感じています。東京文化では、明るい挨拶がよく自然に交わされていたように思います。

誰にでも明るい挨拶をする事、何でもない事ですが、この一言を言いつせぬ人が多いたは確かなのです。クラブでも、挨拶については徹底されています。

私はこれからも、東京文化で身につけた「挨拶」、そして「スマイル」を心掛けて、これからの生活に実践していきたいと思っています。

大学生活で大切なこと



宮本礼子 高校卒

同窓生と呼ばれる立場になって

から、四か月が過ぎようとしています。このたった四か月の間に、私の生活はかなり変化したと思います。高校卒業後、私は四年制大学に進学しました。大学では、高校とは違い、自分の専攻科目がほとんどを占めます。私の場合は、外国語学科の英語専攻なので、毎日英語に追われています。授業内容も、バラエティーに富み、特に専攻科目の授業は、難しく、大変ですが、やりがいがあります。そこで感じることは、やはり基礎の大切さということです。特に英語の場合、過去に蓄積された能力をフル活用し、なおかつ新たな技術を要求されます。高校生の時に、もっと勉強しておけば良かったと悔やんでいるこの頃です。

ところで、高校にせよ、大学にせよ、入学する目的は学ぶことです。しかし、入学した以上は、何かクラブ活動に参加するべきだと思います。私は思います。クラブの仲間というのは、クラスの仲間とはひと味違った趣きがあるものです。私自身は、高校時代、クラブに入っていて良かったと思います。確かにクラブに入ると自分の時間を削られてしまうし、時には、束縛を感じるかもしれません。だが、私などは、時間に追われなければ何もないような急務な人間なので、クラブに入っているくらいでちょうど良かったと思います。

大切なことは、後で振り返った

時の良い思い出をつくることではなく、今、自分が何をすべきかという事です。二度と戻ってはこない今を、大切にしてください。生活を送りたいと思います。

卒業して思うこと



徳永晴美 高校卒

東京文化高等学校を卒業して、早四か月も過ぎてしまいました。総勢一七八人は、それぞれ自分の選んだ道を歩き始めています。

在学中は、風紀が厳しいなど文句ばかり言っていた私達です。しかし、卒業して思い出してみれば、このようなことも一つの思い出となっています。また辛い事などがあると高校時代を振り返って見ると、そんな時、お世話になった先生方の顔を思い浮かべながら、しっかりと笑ってきます。卒業後、友人が会い、やはり高校時代の話に花が咲きます。また東京文化高等学校のセラー服を着ている在校生を見ると懐かしくなります。

高校を卒業して初めて卒業生の気持ちが見えてきました。東京文化の生徒を見て、風紀が守られていれば安心し、守られていなければ残念に思います。在校中文句は

かり言っている、心のどこかで東京文化高等学校という私達の学校を誇りに思っていることに気がつきました。

こうした気持ちを同窓会に反映させたいと思っています。特に私達の学年は人数も多く、行事に参加することの好きな学生です。また幹事になった十二名は、仕事に對して責任感の強い人達です。まだ同窓生となつたばかりの私達です。また幹事十二名も何をして良いかかわからず、とまどっています。しかし同じ東京文化の同窓生として恥じないように、誇りをもつていきたいと思ひます。



高校卒
平澤恭子

幹事をお引き受けして

あの着慣れたセーラー服に袖を通さなくなつてから早くも四か月が過ぎてしまいました。それと同時に、精神的にも高校時代とは何かずいぶんかけ離れてしまったものを感じています。

高校の時は、風紀に厳しい先生の御姿が見えると何となく緊張していたのが、今では少し気恥しいような妙な気持ちで御挨拶したり、また言っている、ぐらいにしたり、また言つた御注意も、大

楽しかった学園生活



小卒
桜井英実加

男二人に女二人、あわせて四人きょうだいの末っ子が私です。姉や兄たちも文化の幼稚園と小学校の出身ですから、私にとっては同窓会の先輩にあたります。今度、私も晴れてそのお仲間入りを果たしたわけです。

この春、公立の中学の門をくぐり、文化で育つたのとは、ずい分違った感じだと思ひました。環境の大きな変化を生まれて始めて体験し、日常生活についていけないやみにずい分出合いました。人間が大きくなっていくためには、この先もきつと何度か乗り越えていかなければならないハードルでしょう。

日とともに、今ではすっかりうまく対応できるようになりました。文化で受けた八年間の教育が土台になって、これからの飛躍へつながらと信じておられます。

文化では、長い間お世話になりました。先輩の方々の御指導を仰ぎつつ一杯がなばっていききたいと思ひます。まだまだ未熟ではありますが、先輩の方々の御指導を仰ぎつつ一杯がなばっていききたいと思ひます。

はいかないものです。そんなとき、くじけそうになる自分を、同窓会員の皆さんに助けていただけたら、と甘えるのは少々だらしがないでしょう。新入りの私をどうかよろしく導いていただくようお願いいたします。



小卒
田畑智章

友達にあいたい

この間までは、半ズボンで登校していたのに、長ズボンになり、なんとなく大人になつたような気分です。

まもなく中学校で林間学校に行きますが、小学校の浅間や蓼科の高原学校を思い出し、一緒に歩いて行きたい気持ちです。

僕には弟がいて、まだ文化の在校生なので文化のニュースは入ります。友達に会いたいとは思ひますが、中学校の生活に追われてなかなか会う機会がありません。(皆さんどうしているかな)と時々思ひます。

僕は中野を通して通学していますが、時々後輩を見かけたり、向こうから話かけたりしてきます。そんな時はとてもうれしです。秋の運動会やバザーには是非とも参加したいです。きつと何人かの友達に会えるかなと楽しみます。



小卒
浦野貴子

同窓会に入会して

六年間一緒だった友達は、それぞれの学校で元気にやっているといます。これからは色々な事におつかり、きつと困つた事も出てくると思ひます。そんな時は、卒業式の時に、橋本校長先生のおっしゃつたお言葉の「スマイル」と「トライアゲイン」を思い出し、困難を切りぬけられるような人になりたいです。

同窓会の幹事を引き受けて、まだ何も分かりませんが、お役に立つことがありましたらやらせて頂きます。

何も知らないうちに、選ばれてしまった。初めてなので何もわからないけれど、できるだけがんばりたいと思ひます。

私は、早とちりで、おちよこちよいですが、がんばりますので、幹事の先輩方、そして先生方どうぞよろしくお願いいたします。



母のこころ

近藤 宏二

昭和二十二年、森本厚吉先生の懇望により経専の講師、次いで短大の教授になった。先生没後静子先生の御信頼をいただき、東京文化学園のために週二三日を捧げてきた。医技創立当時の苦心は絶大であり、校医として全学園のために微力をつくした。男子壮熟年の二十余年間であった。

静子先生の晩年は桃園寮へもよく往診に行った。聖路加病院でお亡くなりになって御遺体が御帰宅になったとき、中川さんや白鳥さんらと御柩を数人の手で捧げて玄関からお部屋にうつしませた。静子先生は私が生涯出会った最高と思う女性の一人であった。

先づこのことを書いて私の母のスマミのことにうつる。母は明治十七年柏崎市で生まれた(目崎さんと同郷)。七才で父母とともに群馬県に移り、二十八才で小学校校長となっていた須藤守多と結婚した。県立高崎女学校第一卒業生で、県下初の女教員でもあった。私はその次男、小学校卒業まで祖父母に育てられ、中学入學で父母の許に移る。私が中学二年当時、私の進學に大切と考え、大正十四年上京、中野区に住むようになった。今の近藤クリニックのあるところ



が中野駅南口で、桃園寮のすぐ近くに三年ほど住んだ。文化との関係も浅からぬものがある。

母の決断で一高、東大へ入學出来た私である。その母に肋膜炎と腎臓結核と、二度たいへん心配をかけた。歳月がめぐり母が九十才になった。この母に百まで生きてもいい。その晩年を心技の限りを尽くして孝養につとめたいと願った。自費出版「母よ百まで生きて」の上下巻は、その全記録である。幸い全国販売へとひろがり、日本図書館協会推薦書にもなった。それに合せて、「近藤スマミ生誕百年」を記念して、歌集「こころ」を出版した。この中には文化在職時代の作品も出てくる。

これから十年、母の追善ということを中心において、自分の人生をまとめて行こうと思う。キリストにマリヤがあり、皇室の祖に天照の女祖があったとされている。男でも女でも自分の出身校を母校と言ひ、船出した港を母港、移民した人の故国を母国という。

男性の多くが財力、権力、名誉にあこがれたりするが、出世しようがしまいが、母を思うことを大切と考えなければならぬ。女性の中には結婚をせず、あるいは結婚しても子供が出来ずに、母となることなしに生涯を終る人も少くないが、男女の何人にも、母がある。私は自分の歌集の中のものを持って声を立て、朗詠する。「ああこれは私という人間の、母を讃美する「讃美歌」だ!」と思う。その一首を添えてこの稿を終る。

みな人に母ありけるを秋雨の真夜に涙す老い人我は
(昨年十月の作)

付記 母よ百まで生きて(上下巻)二千二百円。歌集こころ二千円。御希望あらば同窓会まで。送料著者負担でお送りします。なお、二割相当額を同窓会に寄付申し上げた。

元、専門学校・短大教授、医技副校長。現、ラジオドクター、近藤宏二内科クリニック所長。

高女部会

浅間高原寮へ 平山 鈴子

八月二十五日朝八時、私達高女部会の同窓生四十一名を乗せたバスは新宿を発車。関越高速道を一ノ路軽井沢へ向った。妙義山、浅間山と近づくにつれて緑が増し、いよいよ高原の景を呈して来る。午後一時過、浅間高原寮到着。門柱に掛けられた大きな校章型表札の三日が目にとび込んだ。在学当時の森本厚吉校長先生のご温顔がオーバーラップする。

全員揃ったの昼食後、割当てられた部屋に分散。私達グループ十一名は二部屋を指定され、室名を確かめて入ってみたら何と襖で隔てられた同じ部屋。爆笑が湧いて、気分も若返ってくる。陽射しが和らぐのを待って、周辺の散策に出かけた。車も人影も殆んどない。芒、月見草、萩、吾亦紅、コスモス、また名も知らない野の花々が小道の両側から私達に語りかけてくる。周囲の自然と一体になった気になる。六時半、調理担当の方々の心籠った夕食を、和気藹々とした語らいの中で頂く。第一回から二十三回に至るといふこの塾の繋がりがもっているのは、推進力となつて下さる方々のお蔭によるところ大だろう。部屋に戻ってか

らはお喋りタイム。学校時代の思い出話から始めて尽きるところを知らない。次第に気温も下って夜が更けて行った。

さわやかな朝の光の中、全員で記念撮影をして、九時出発。途中旧軽井沢の町を思い思いに楽しんでから、バスは帰路に着いた。カラオケから校歌へと、聞き惚れたり合唱したりして時の経つのも忘れてる中に早や都内へ。新宿三時頃解散。

この楽しい旅のお世話をして下さった湊先生はじめ、幹事の皆様方に深く感謝いたします。



浅間高原寮の新しい「げやき荘」の前で

リブラ会総会

安達 房代

ようやく春の訪れを感じられるようになった三月二十六日(日曜日)に、文化アパートメント発祥の場所である、日本学生会館に於て専門医学技術、学校同窓会総会(リブラ会)が開かれました。

忙しい日程の中を七十名余の多くの出席者に、医学技術専門学校校長福岡良男先生を始め、小酒井望先生、橋本敬祐先生、水岡慶二先生、鈴木恒道先生、桑原紀之先生に御出席いただきました。小栗豊子(会長)さんから開会の挨拶があり、次に宮内美子(会計)さんから昭和五十八年度決算報告と説明があり、全員一致で会計報告等が承認されました。

議事のと、昨年度、小島三郎賞を受賞された相賀静子氏(第一期)、並びに福見秀雄賞を受賞された長岡文氏(第二期)の講演がありました。両氏の講演では、フレッシュな若い技師から、ベテランの技師にも勉強になる大変みのあるお話しをしていただき、好評でした。

講演終了後は、御出席いただきました諸先生をかこみ、なごやかなひとときを過ごしました。宴だけ

なわのところなごりおしみつ、東京文化学園の校歌を全員で斉唱して、閉会と致しました。

萩島寿子氏

福見秀雄賞 受賞

第二回福見秀雄賞受賞式が本年五月十二日(土)、東京の野口記念館で挙行され、医学技術専門学校三期生の萩島寿子さんが受賞された。福島秀雄賞は臨床検査に半生をささげ、後輩の指導育成に尽力された人に与えられる名誉ある賞であり、本校卒業生では長岡文氏に続いて二人目である。

萩島さんは本校卒業後、国立東京第一病院(現在の国立医療センター)において長年にわたり病理検査に専念され、現在では独協医科大学付属病院の病理検査の責任者として活躍中である。萩島さんは卓越した技能の持ち主で、研究意欲も旺盛であり、絶えず検査業務の効率化のために工夫されている。医療センターに在職されていた頃は、実習生の将来を考え、厳しい先輩として指導にあたられた。当時、家庭の台所用品を検査室の中で上手に利用したり、数種類の細胞診の染色時間を知らせるのになった一台のタイマーを効率よく利用するなど節約にも余念がなかつ

た。指導を受けた方なら印象深いはずである。

萩島さんはお仕事のかたわら実に多くの趣味を楽しんでいられる方である。謡、仕舞、横笛、うるしぬり、スキー、乗馬など・・・また、野山の草木は非常に詳しく、山歩きをしながら植物の写真をとる、一つ一つ名前を覚えられるとのことである。五十才を過ぎて車の運転免許をとられ、現在では愛車であちこちに足をのびさせているようである。

これからもお元気でお仕事に、趣味にと大いに活躍を期待したい。



リブラ会幹事会(高原寮)

庭でバーベキュー・パーティ

を楽しむ同窓生

高校部

同窓会合同懇談会

九月二十五日(水)学園第二カフェテリア、視聴覚室に於て、高校卒業後久しい期、即ち卒業後十五年経過された方が、五年毎に招かれ、最近の母校を理解頂くことにより折りにふれて知人に紹介頂くよすがとなるよう、また併せて卒業生の親睦と同窓会高校部の結束を図る一助として行われました。

今回は昭和二十九、三十四、三十九、四十四年三月に卒業された諸姉及各期幹事が招かれました。

最近とみに上昇しつつある東京文化学園の世評にたがわず、学園の教育精神3日に加え、非行や校内暴力のない学園、まさに理想の学園に発展した母校の姿を目の当りに拝見出来ますことは、御多忙の中この様な有意義な会を企画して下さい。諸先生方の御苦勞はさることながら、大変喜ばしいことです。

高校部

四十五年卒の皆様へ

高校四十四年度(四十五年三月卒業)の同期会を去る七月二十一日(土)学園の第二カフェテリアで行いました。出席者は44名。十四年ぶりに学校を訪れた者も多く懐しさにあふれて居りました。

黒沢先生に挨拶を頂き又、浅原先生には高等学校の近況や特に海外研修旅行のお話など色々として頂き、発展的な行事に皆感心して居りました。

今回の同期会で幹事さんをはじめ皆さんの協力により今までの名簿が随分訂正かつ不明な点がわかりましたので、有志によって新しく名簿を作ることにしました。御希望の方は左記口座まで五百円(送料込)お振込み下さい。お送り致します。又住所変更や不明な方の居所を御存知の方は名簿係までお知らせ下さい。

振込口座番号(郵便局)
東京2-176055

「東京文化高校44期同期会」名簿係

池田延江(照内)

0424-6218966

中谷谷子(秋山)

045-545-1148

小暮明子(大久保)

03-926-9514

(二雲記)

(池田記)

— 学園人事 —

森本武也名誉学園長
佃 正晃 短大学長

学園では、長らく病氣静養中であった森本武也短大学長・学務理事が三月末で任期満了となったので、後任の短大学長に元立教大の総長の佃正晃先生をお迎えしました。

森本武也先生は、昭和二十七年

から短大副学長と各校の学監を兼務され、さらに昭和三十九年から森本静子先生のおとをうけて短大学長と各校の校長園長として、学園の発展に大きな足跡を残されました。

昭和四十三年に脳血栓でたおれたあと、短大学長のみで専念されていましたが、このほど任期満了となったのを機に退任されることになりました。

先生は、名誉学園長として学園の教育研究の発展のために、ご協力をいただくことになりました。

佃先生は、東京帝国大学工学部を昭和十七年に卒業され、立教大学には昭和二十年から勤務されていましたが、本年三月末に定年退職されました。昨年度から短大で講師として生活科学を担当され、このたび理事としても学園の発展に尽力されることになりました。

このほか、短期大学の松木光副学長と医学技術専門学校校長の長岡文

副校長も、任期満了で三月末で退任されました。お二人ともそれぞれ短大と医技で講師として学生の指導にあたられます。

森本先生幼稚園長も任期満了により退任され、橋本小学校長が幼稚園長を兼任されました。

昭和二十八年から短大で調理学を担当されていた高橋静枝先生は、三月で定年されました。

昭和二十七年から中高に勤務された手嶋鑿樹先生も、三月で定年で退職されました。引き続き講師として生徒の国語教育に当たられています。

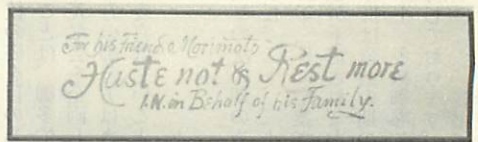
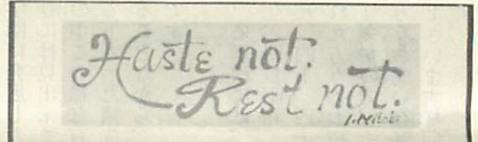
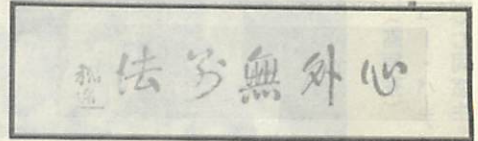
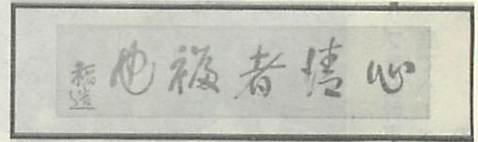
また、大浜英子先生逝去のあと理事が一人欠員でしたが、五月に森本静子先生が理事に就任されました。

新渡戸先生筆の額

森本武也先生から

学園へ寄贈

このほど森本武也名誉学園長から学園に対し、四面の額が寄贈されました。この額はいずれも新渡戸先生の直筆のもので、二枚は英文のものす。



四枚とも新渡戸先生から森本厚吉先生が受けられ、厚吉先生、静子先生、武也先生のとときに校長室、学長室に掲げられていました。このたびの短大学長の退任にあたり、森本武也先生から学園に寄贈されることになりました。

四枚の額は次のとおりです。

「心清者福也」

「心外無別法」

「Haste not, Rest not」

「Haste not & Rest more」

十和田市立

新渡戸記念館を訪問

新渡戸稲造先生を記念して、学園には新渡戸記念館があり、東京の多磨墓地の先生のお墓のそばに

先生の銅像があることは、同窓生にもよく知られています。新渡戸先生は岩手県のご出身ですので、十和田市や盛岡市にも記念館や銅像があります。

十和田市立の新渡戸記念館は昭和四十年に創設されたもので、森本武也名誉学園長、大久保理事、松本前副学長などの学園関係者もこれまでに見学に訪れています。

学園では、新渡戸先生ゆかりの地を学園の先生方に広く知っていたが、教育に新渡戸先生の精神を生かそうと、六月十六・十七日の二日にわたり、十和田研修旅行を行いました。これには、大久保理事長、落合常務理事、佃短大学長、福岡医技校長、土居中高校長、橋本小幼校園長、森本事務長など十九人が参加しました。

十和田市立の記念館は、一階に

は稲造先生の祖父の伝翁と父の十次郎の三本木原の開拓事業を記念して、開拓資料・測量具・絵図面などが展示され、二階には祖父・父のこの事業をみて農学に志をむけられた稲造先生の遺品や蔵書などが展示されています。昨年、稲造先生の没後五十年を記念して、先生の立像が前庭にたてられました。ここでは、館長の新渡戸憲之氏に親しくご案内いただきました。盛岡市内の先生の生誕地跡には、多磨墓地にある椅子にかけたお姿の銅像の複製がたてられています。同窓生の皆様の見学をおすすめいたします。



右は盛岡市にある銅像
左は十和田市にある銅像

あなたの良き後輩としてふさわしい 学生・生徒・児童・園児のご紹介を!

“VERITAS VOS LIBERABIT”

「真理は汝等に自由を与う」(新約聖書ヨハネ伝8章)

沿革

- 昭和2年 女子文化高等学院を東京市本郷区元町(現文京区本郷二丁目)に創立する。役員は理事長に法学博士森本厚吉、理事・法学博士吉野作造、理事・医学博士橋本寛敏、学院長には森本静子が就任する。
- 昭和3年 専門学校令により女子経済専門学校と改称する。初代校長に新渡戸稲造、理事長兼副校長に森本厚吉が就任する。
- 昭和6年 現在地所在の成美高等女子学校を引継ぎ、附属高等女学校と改称し、新渡戸校長が兼任する。
- 昭和8年 新渡戸稲造校長逝去により、副校長森本厚吉二代校長に就任する。
- 昭和9年 東京都中野区の現在地に移転する。
- 昭和18年 地方学生のために東京都中野区桃園(現中野区中野3丁目)に学生寮を開設、桃園寮と命名する。
- 昭和19年 東京女子経済専門学校と改称し、経済科・保健科・育児科を設置する。
- 昭和21年 英文科を設置する。附属幼稚園を開設する。
- 昭和22年 学制改革により、附属高女は東京経専中学校および同高等学校に分かれ、校長に森本厚吉が就任する。
- 昭和23年 東京経専小学校を開設し、校長に森本厚吉が就任する。
- 昭和25年 森本厚吉校長が逝去したため、森本静子が校長・園長に就任し、橋本寛敏が理事長に就任する。
東京文化短期大学(家政科)を設置し、学長に森本静子が就任する。東京経専高等学校・同中学校・同小学校・同幼稚園と改称する。児童研究所を新たに設置する。
- 昭和26年 学校法人東京文化学園を設立、理事長に橋本寛敏が就任する。従来の専門学校は発展的に解消する。
- 昭和27年 短期大学内に医学技術研究室を開設する。
- 昭和30年 東京文化医学技術学校を開設する。医学技術研究室は発展的に解消する。
- 昭和39年 森本武也が学長に就任し、森本静子は学園長に就任する。浅間高原寮を長野県御代田町に開設する。
- 昭和46年 任期満了のため橋本寛敏理事長が辞任し、大浜英子理事が理事長に就任する。
医学博士松木光が副学長に就任する。
- 昭和47年 医学技術学校校長に医学博士守屋博が就任する。
- 昭和49年 幼稚園長・小学校長に鈴木光雄が、中学校長・高等学校長に土居孝輔が就任。理事長に大久保安威理事が就任する。
- 昭和51年 50周年記念事業の一貫として杉並区和田1丁目に約千坪の校地を購入する。
東京文化医学技術専門学校臨床検査学科と改称。
- 昭和52年 創立50周年記念式典を挙げる。東京文化学園五十年史刊行
- 昭和53年 幼稚園長・小学校長鈴木光雄の逝去により、幼稚園長に森本光生が就任し、小学校長に永山義夫が就任する。
- 昭和54年 幼稚園・小学校新校舎が、杉並区和田1丁目に竣工し、二期期から授業開始。
- 昭和56年 医学技術専門学校長に福岡良男医学博士が就任2, 4, 7号館とりこわし、跡地に体育館建築。東グランド整備。
創立50周年記念事業を完遂。9月より使用。
- 昭和57年 小学校長に橋本正礼が就任する。
- 昭和59年 短期大学学長・学務理事、森本武也が退任し、名誉学園長、学園顧問に就任する。
短期大学学長・理事に理学博士、佃正晃が就任、短期大学副学長、松木光が任期満了により退任。
幼稚園長に小学校長、松本正礼が就任(兼務)



創立者
森本厚吉先生



初代校長
新渡戸稲造先生

昭和二年に女子文化高等学院として創立した東京文化学園は、五十七年を経て全国の卒業生は一万六千人余りとなりました。社会に貢献される卒業生の活躍をみると、創立者森本厚吉先生、初代校長新渡戸稲造先生の3日の教育精神が各所で生かされているのを感じられます。

卒業生のお子さんやお孫さん方が母校に入学され、伝統ある校風を学ばれる姿を拝見することも、学園にとって力強く感じられること、新



名誉園長
名譽理事長

森本武也

が協力により、昭和五十六年をもつてすべての事業を完遂し、学園は飛躍的な発展をいたしました。さらに来るべき創立六十周年に

卒業生の皆さんへ

時代に即した教育をもって皆様の信頼にこたえるよう努力してまいります。

創立五十周年記念事業は皆様のむかつて、建学の精神を生かした新企画を検討し、施設の充実と、将来をなう若人への新しい教育を念願しております。

同窓会の皆様には、学園祭、総会、クラス会などの折に学園に来ていただいております。昨年から全国の支部を学園から訪問したり、支部長の皆様に来ていただいて教育の現況をご覧いただき交流を深める機会を設けています。皆様のご支援をお願いいたします。

東京文化学園 案内請求券 (同窓会)

この請求券を切りとって同封した場合、学校案内は無料になります。必要とされる学校名に○印をおつけ下さい。

短大・医技・高校・中学校・小学校・幼稚園

校外活動により 情操豊かに

短期大学の教育のめざすもの

東京文化短期大学は、創立以来満五十七年の歴史を経過した。学制改革によって経専から現校名に変更になってからでも三十五年を数え、地道ながら着実な発展を続けている。このことは同窓生各位のご後援によるところが非常に大きいものと関係者一同大変喜んでゐる。特に近年は、応募者も増加し、選考も一段と慎重かつ厳正に行い、内外の期待に応えられるよう努力を重ねている。

しかし何より大切なことは、入学した学生が、知識と能力を身につけ、社会人として立派に活躍できるようにすること、本学教職員の役割であると深く自覚し、努力を惜しまない積もりである。そのためには、単に知識に偏ることなく、三日精神を十分体得した学生でなければならぬと考え、德育による情操の豊かさを重視するとともに、さらに体育の練成によって強健な身心を育成することに願っている。

な学生生活を通じて社会性を身につけ、人間関係の円滑化を図り、それぞれの特性を、より一層發揮できるように配慮したものである。またこれらを通して教員と学生および学生相互の親睦を密にし、少数教育による触れ合いの効果을期待し人間性のよりよい開發をも果たすことを考えている。その意味で概要を紹介したい。

第一は入学直後に行われるオリエンテーションキャンプである。この行事は、入学式直後の二日間、学内においてカリキュラムの説明、単位の履修方法、授業時間割の趣旨など、学生生活を送る上での基本的な説明を行い、それらを通じて大学とは何であるか、また学問とはいかなる意味をもつか、など漠然と分りかけられてきた時期を選んで実施する一泊二日の行事である。場所は三〇〇人余りを収容し話し合いをするための施設を求めるとともに、学生は大人であるとの意識を高めることを配慮して、すばらしい環境と立派なホテルを遊ぶことにしている。

本年度は、山中湖と富士山を臨むホテルマウント富士を会場とした。よく言われるように、同じ釜の飯を食うことは、共同体意識や連帯感を培い、東京文化短期大学の学生であるとの自覚をさらに促進することに役立っている。特に行事の中心のシンポジウム「短大生活について」は、教員から四人スピーカを選出し、それぞれの教員が、自分の専攻を生かしながら、生きること、学問すること、青春のあり方等を自由に発表することになっている。これを聞いた学生は、相当のカルチャアショックを受ける模様である。何故なら、教員同士の異なった意見がぶつかり、そこで討論が行われるからである。それをきっかけに学生からの質問も多く出て、学問する姿勢が身につくものと思われる。これは本学におけるユニークな行事であると自負している。

第二は、夏期休業中に実施する浅間教室である。これは本学の高原寮を利用した一年次生の行事であるが、施設の都合上、四班に分かれ二泊三日で行われる。ねらいは、浅間山南麓に広がる雄大な景観と、高原の爽やかな息吹に接することによって、伸び伸びとした意欲ある若者の育成を考えている。内容はジョギング、オリエンテーリング、パーベキュー、キャンプファイヤーと盛り沢山なプログラムである。最初億劫がっていた学生たちも、時を経過し思う存分体を動かすうちに、次第に生気を取り戻し、活発に行動するようになる。そして最後のハイキングの頃ともなると、すっかり意気投合し、文字通り青春を謳歌する若者の姿を見せてくれる。



- その他に新人生歓迎スポーツ大会が五月に行われ、クラス対抗による各種競技が盛り上がり、グラウンドに一日中歓声が響き渡っている。また十一月には、学園全体の学園祭が催され、この時は多数の同窓生が来校される華やかな祭りである。これらの行事をより活発に、さらに意義あるものにしたいと念じている。
- 四
- 募集要項
- 募集人員 家政学科一五〇名
 応募資格 高等学校卒業生、または本学でそれと同等以上の学力を有すると認められた者
- 出願書類
- 1 入学志願書
 - 2 最終出身学校の報告書(調査書)
 - 3 健康診断書(調査書の「担当学校医所見」が得られない場合のみ)
 - 4 推薦書(推薦入学を希望する者のみ)
- 出願方法 以上の三(または四)種類の書類に入学選考料二〇、〇〇〇円を添えて教務課に提出(郵送可)
- 試験科目
- ◎食物・栄養コース
 国語(現代) 英語 理科
 (生物IおよびII 化学IおよびIIより一科目選択) 面接
- ◎教養・教職コース
 国語(現代) 英語 理科
 (生物IおよびII 化学IおよびII)または社会(倫社政経)より一科目選択 面接
- 出願期 日
- A 推薦入学
 B 書類選考
- 第一期 11月15日〜12月15日
 第二期 1月14日〜2月23日
 C 筆記試験 2月25日〜3月2日
 筆記試験日 3月5日
 (詳しくは入学案内参照)

近代医療で重要な地位をえた 臨床検査技師

校長 福岡良男

医学が現在のように発達していなかった時代には医師が一人で診察、検査、治療を行っていました。しかし、医学が急速に進歩した現在では、医師が一人ですべてを行うことが困難となり、看護婦、薬剤師、レントゲン技師、臨床検査技師という専門職が生まれ、それぞれが分担して医療チームを編成し、医療に貢献しています。

医療のうちで患者さんのいろいろな検査に従事するのが臨床検査技師です。この検査の結果によって医師は病気の診断、治療方針の決定、治療効果の判定、患者さんの病気の将来の予測を行います。このように臨床検査技師は医療の中で最も重要な仕事をしているわけです。

臨床検査には検体検査、生理機能検査、病理検査、輸血検査があります。検体検査とは患者さんから採取した血液、尿、便、喀痰、体液について行う検査であって、化学的成分を測定する化学検査、血液の細胞形態と凝固機能を検査する血液学的検査、免疫機能や異常タンパク、がん物質を免疫学的に検査する免疫学的検査、感染症の病原である微生物や寄生虫を検査する微生物学的検査などがあります。



福岡良男校長の授業

生理学的検査とは患者さんが発する電氣的、物理的情報をキャッチし、それを解析して診断を下す検査であり、心電図検査、ベクトル心電図検査、脳波検査、筋電図検査、脈波検査、呼吸機能検査、聴力・平衡感覚検査などがあります。

病理検査は手術や解剖で摘出した組織の病変、喀痰や分泌物中のがん細胞の有無などを顕微鏡を用いて検査する検査であります。輸血検査は輸血による感染防止、輸血による免疫の予防、輸血副作用の防止など安全な輸血をするための検査をする検査です。これらの検査は大部分オートメーションによる分析、コンピュータによる検査結果の解析が行われています。臨床検査技師の活躍の場は病院の臨床検査室のみならず、医師会や民間の検査センター、大学の研究室、研究所、保健所、製薬会社の研究室や学術課などますますその需要が高まっております。さらに増大する傾向があります。臨床検査技師としてのどのような人間像が望まれているのでしょうか。臨床検査技師として最も必要なものは医師や看護婦と同様に常に病める者に奉仕するというヒューマニティーであります。冷静、沈着で協調性と研究心に富み、仕事に対してファイトのある人が望まれています。臨床検査技師教育を進めるための基礎学問として化学、物理、生物が必要でありますので、理科系の教科をすきな人が望まれます。

めの一年間は教育課程を、二年目は専門教科の講義と実習を、三年目は都内の大病院や一流大病院の検査室において臨地実習を主体とした現場教育を行っています。本校は昭和二十七年にわが国で最初に設立された臨床検査技師学校です。卒業生の国家試験合格率は常に全国のトップレベルにあります。

本学の卒業生は各方面で技師長、主任技師となっているものが多く、その人柄のよさと旺盛な向学心により、本学の卒業生を採用したいという病院や研究所が多く、求人は卒業生の三倍に達しています。また、卒業生のうちから最も難関とされている一級臨床検査技師試験の合格者が十三名、各種の賞を受賞した者が八名、医学博士の学位を授与された者が三名あり、また外国の病

学生募集要項

修業年限 3カ年
 募集人員 70人(女子)
 入学資格 高卒(又は高卒以上の学歴を有すると認め者)
 出願書類 入学願書、出身校の調査書、健康診断書、出身校長の推薦書(推薦入学志願者)入学選考料をそえる。

入学選考A (推薦入学)

願書受付	試験日	合格発表
昭和59年11月6日 より	59年12月6日	59年12月8日
昭和59年11月30日 まで必着		

書類合格者には、通知する。

入学選考B (試験入学)

願書受付	試験日	合格発表
昭和60年1月8日 より	60年2月13日 筆記試験	60年2月14日
同 2月9日 まで		

試験科目 英語B、化学I、II、および物理Iまたは生物Iのうち1科目選択 計3科目

院の主任技師となっている人もいることは、本学の卒業生が如何に優秀であるかを物語っています。本学の教授陣は都内の大病院と一流大病院の医師と検査技術者で、全国で最高のスタッフをそろえています。

本校は医学界の要請にこたえ、高度の技術と豊かな教養をもった女性の臨床検査技師の養成にますます力を入れていますので、優秀な女子高校生をご推薦くださるようお願いいたします。また、本学の発展のため一層の御援助を下さるようお願いいたします。

自分のために自分で学ぶ

―五日制の実施―

中学校も高等学校も、相変らず

三日精神や「真理は汝を自由にする。」に沿った人格教育を旨とし、受験本位の詰め込み主義をとりません。生涯教育時代に対応して、基礎となる学力の養成に努力し、自分のために自分から学ぶ姿勢の養成につとめています。

その一環として五日制を実施しています。毎土曜日は自主学習の日として、高学年別にテーマを設定し継続的な学習を行なってお

ります。

本年を例にとると中一は予習復習の習慣化を図ることとしそれに読書を加えています。二、三年生は私の研究ということで自分でテーマを定めます。毎週土曜、学習日誌を提出、担任の評をうけます。

高一是「母親に学ぶ」。土曜は朝早くから起き、お母さんがふだんやっていることを全く自分でする。お母さんがもっておられるものを全部吸収する。まずお母さん



あずけて心配のない

学校として

中 学校長 土居孝輔
高等

同窓会の皆様、日頃なにかと御世話になっております。

お陰様で、学園の教育環境が年毎に整い、生徒達の学力、行動共に著しく向上してきました。

今後とも建学の精神に則り、良い伝統は大切に守ると同時に、新しい時代にむけてその現代化を図り、あずけて心配のない学校、として皆様の御期待に応えたいと努力しております。

最近卒業生の親族、縁者の方々の入学者がとみに増えて参りました。本当に有難いことと感謝しています。六十年度生(明春)より中学校の募集も一学級増やしますので、どうぞ校風の守り手として相応しい良き御家庭の子女を積極的に御紹介、御推薦下さいますようますますの御協力をお願いいたします。



から学びましようというわけですが、高二になると自主学習の目安として、各教科毎に課題のヒントが出される。それを選択して各自の間学習とする。高三になると高二の学習を更に継続してもよいし、また進路にそってその学習をするもよし。全学年とも土曜カードを提出する。というスタイルで四年目を迎えております。

清潔・端正・品位

―東京文化はあなた自身―

中、高の前身附属高女開設以来

連綿と続いているこのえんじのセーラーは、制服是非論が間欠的にまきおこる中で、いつも好評をうけ、かつて先輩が着たと同じ制服を誇りをもって着ております。清潔・端正・品位を旨として、制服姿は本人及び学校を語るものとして正しく着用することを指導して

います。髪型、携行品その他きめ細かなルールがありますが、それらの遵守については「東京文化はあなた自身です。」とのかけ声のもと、生徒の自律を呼びかけています。おかげ様で、登校拒否も非行もない「きびしくて楽しい学校」として定評を頂いています。

行事は「人間形成」を主眼とするこの学校においては極めて重要な教育の機会になっています。特に団体訓練、創造力、協調と協力精神など貴重な体験を積みま

ます。入学式・オリエンテーションの後、新しい学校づくりに軌道にのせる一つの契機となるのが球技大会で、新装なった体育館で生徒職員が自

らスポーツに親しみ、併せて学級学年、全校の親睦と団結を図ります。中間試験を終えると、芸術教育の一環として舞台鑑賞を行ないます。本校では他に二学期には芸術鑑賞を、三学期には音楽鑑賞を行なって、より優れた生の芸術に触れさせ情操教育の一環としています。

夏休みを前に氾濫する情報の中で正しい性知識を考えさせるため性講話が企画されます。進路指導諸行事もこの頃がピークを迎えます。中学生は学年毎に学園の浅間高

原寮で、高一は富士周辺で夏期学
校を開き、恵まれた自然環境の中
で規律ある集団生活を行ないます。
クラブ合宿も浅間高原寮及びその
周辺で行ないます。

海外生活を体験することにより、
国際的視野をひろめる
ため、高校生希望者に
より、海外研修旅行を
行なっています。初代
校長ゆかりの地として
カナダを選び、大学の
宿舍で初歩の会話を学
び、ホームステイを行
ない、カナディアンロ
ッキーの雄大な姿、美
しい街づくりを見聞し
ながらロス、ハワイに
立ち寄り、約三週間の
旅を終ります。

二学期は、創作舞踊
発表会、合唱コンク
ール、学園祭、修学旅行
など大きな行事の他、
水泳教室や英語暗唱大
会など教科的行事もあ
り多彩です。

創作舞踊発表会は体
育授業の成果の発表の
一つとして行ない、学
年の規定に基づき、選
曲振りつけ、手具の選
択から若干の体育着の
装飾などすべて学級討
議を経て自主的に創作
され、生徒による審判

で優勝が競われます。
合唱コンクールも同じように学
級を単位とし、中高全員が参加し
ます。自由曲は学級で自主的に選
曲し、指揮、伴奏、共に学級内で



熱演する発表者

創作舞踊



選ばれます。音楽科教員、音楽を
専攻する卒業生らが審査員になり



成績が決まります。
両者とも学校内の団結と創意、熱
意がものをいう行事なので歌い合
わせ、おどり合せることから協調
の精神が培われ、他人を尊重する
心が養成されます。

学園祭は授業の会部門、展示催
物部門に分かれ、中高ではおまつ
りとしてではなく、日常の教育活
動つまり授業ホームルーム、クラ
ブ活動の成果を発表する場として、
学組選出の実行委員の手によって
運営されます。学園祭のあと修学
旅行が行なわれ、中二は京都、奈
良、高二は九州地方、同じころ高
三は卒業旅行(一泊)を行います。
修学旅行のあと学園は静けさをと
り戻し、ひたすら学習に励むこと
になります。

二学期は、この他中学の水泳教
室、中・高の英語暗唱大会、美術
鑑賞が組み込まれます。またウイ
ンタースポーツとして、希望者に
よるスキースクールが、開かれる
と、二学期の幕が降ります。

三学期はかるた会が作法室で開
かれます。かるた会を通して古典
に親しみ日本古来の遊戯を理解す
る一助として人気のある行事の一
つです。

高校の卒業式は二月、中学は三
月に行います。伝統的な形式によ
り、厳しゆくさをのこしながらも
「卒業は始業なり」という創立者
の言葉のように、果立ちゆく若人
の前途を祝福しつつ、なお惜別の

情をめぐえぬ心の通った雰囲気は
東京文化ファミリーならではの
ものといえましょう。

かるた会



父母会バザー会場風景



中学 水泳教室



「小さい事を誇りとして」

小学校長
橋本 正礼

東京文化小学校は、一学年一学級、全校児童二百名足らずの、東京では珍しい小さな学校です。そして、この小さい学校であること

を、創立以来大きな誇りとして来ました。一人一人の子どもをしっかり把握し、綿密に指導し、それぞれの個性の中の良いものを大切に育てて行くためには、少人数であるという事が大へん有利な条件であることは申すまでも有りません。



十数年前、私はヨーロッパからアメリカを巡る二か月の旅をしました。その間に二十程の小学校をゆつくりと見学する事ができましたが、そのうちの半分は、全校児童が百名から二百名位の小さな学校でした。中には、それがとても学校だとは思えないような小さな建物であったために、すぐその前まで行きながら、二度も三度も門の前を通り過ぎてしまった学校もありました。

日本では、小学校というと千名を越えるような児童の集まる大きな建物が普通ですが、ヨーロッパでは個人の家に毛が生えた程度の小さな良い学校がたくさんあります。

この春も、私は六年生と一緒に修学旅行に行きました。三日目の宿は、夫婦岩で有名な二見が浦の二見館という旅館でした。明治の初めから続いている由緒ある旅館で、伊勢や二見が浦に皇族がおいでになった時は、必ずお泊りになる所です。二階の中央には「御殿の間」という広い座敷があり、大正天皇がお坐りになった椅子が今もそのままに置いてある、というそんな旅館なのです。

美しいシャンデリアの下がった大広間で食事をしながら、お給仕をしてくれる女中さんにあずねてみました。「この旅館に修学旅行の団体も時々泊りますか?」

「いいえ、団体さんのお泊りは、一年通しても数える程しか有りません。小学校はこちらさんだけです。小人数だし、お行儀ようしてくださいるのでお泊り頂けませんが、修学旅行の団体さんは大体お断りしています。」

この旅行で、明治村の市電にみんなで一度に乗れたのも、鈴鹿サーキットで三キロのコースを全員でゴーカートで走れたのも、みんな本校が少人数の一学級の学校であるお蔭です。

小さい学校だとできない事もありますが、小さい学校だからこそできる事、小さい学校だけしかできない事の方が、それよりもはるかに多いのです。この事実は、本校の毎日の学校生活や一年間のスケジュールを見れば、すぐに納得して頂けることでしょう。

これからも、この少人数制のメリットを大いに生かして、特色ある私立小学校の道を歩んで行きたいと思ひます。

もちつき・すもう大会

毎年節分の頃に開かれる「もちつき・すもう大会」が、今年は二月九日に実施されました。「すもう大会」の方は、低学年と

高学年がそれぞれ軽量・中量・重量の体重別に分かれて試合を進めます。一年生が三年生に勝ったり、太った子がやせた子に投げられたり、手に汗にぎる熱戦が展開され、最後に各グループごとの優勝者が決定し、表彰されます。

今年も、久しぶりに本物のおすもうさんに来て頂く事ができました。子どもたちの文化場所も大いに盛り上がりました。来て下さったのは、大島部屋のホープ旭富士関をはじめ、幕下の旭桜関、序の口の旭峰関の三力士。自分の何倍も大きい巨体を見上げながら、子どもたちは目を見張ってびびりぎょうてん、「でっかいなあ!」「おっかいなあ!」を連発していました。

子どもたち同志の取り組みが済んだあと、幼稚園の子から六年生まで次々とおすもうさんのおへそあたりにぶつかってはマットの上で投げとばされて大喜びでした。すもうと平行して、中庭では、給食室や父兄の協力を得て、「もちつき」が進められています。三力士も中庭に出て、おもちつきを手伝ってくれました。重いきねをバットのようになげと打ちおろして、たちまち何うすもつき上げ、息も切らさず涼しい顔をしています。つけたお餅は、エプロン姿の六年生の女子が、小さくまるめてからあんや大根おろしで仕上げをし、みんなで給食がわりにおいしく頂きました。

本校では、節分の豆まき、七夕祭り、田植え、稲刈りなどの行事の他、風作りや竹の水鉄砲作りなど、日本古来の行事や遊びをいろいろと取り入れて、学校生活をバラエティに富んだ楽しいものにしていきます。



昭和六十年度児童募集
募集人員 男女合わせて四十名
(内部進学を含む)
入学説明会 公開授業10月9日
願書受付 10月17日～11月14日
入学テスト 11月15日
合格発表 11月16日
(学校案内と入学要項を受付にて無料配付中です。)

ようちえん だより



どこまでも青く澄んだ空、さわやかな朝の風の中を登園してくる子ども達のなんとたくましくなったことでしょう。そのいきいきとした瞳、しっかりとした足どり、頭の中は、今日、これから始まる幼稚園の生活への楽しい期待でいっぱいなのです。

「おはようございます」元気な声のAちゃん、「先生にこれあげる」と、そういつと開いてみせてくれた手の中には、緑色の小さなどんぐりが一つ、秋の訪れを知らせてくれました。

運動会、遠足、音楽会、プレイ

「先生、ぼく山つくるんだ！」園庭に出てくるとそう言いながら砂場に走って行ったSくん、さっそく山づくりが始まりました。後からYくんやTくんも仲間入り、砂をかけては手でポンポンとくずれないように固めながら大きな山をつくらうと一生懸命です。後からIちゃんやRちゃん、Yくんも加わり、川やトンネルも掘られていきます。年長組が所狭しと山や川づくりを楽しんでいる様子を眺め

ていたことり組も自分達の手で同じ様に作ってみたい気持ちが出て来た様子です。

——お手伝い大好き——
遊びもお友だちとの交わりも、積極的になってきたことり組さん、先生のお手伝いにも大はりきりです。おやつや給食の前のテーブル拭き、二つの小さな手で、しっかりと雑巾をおさえ、のびあがるようにして力一ぱい拭く姿はカメラにおさめたいよう。

「先生、今日はMちゃんだったから、明日はわたしにして」と希望者が殺到の毎日です。

野も山も、みよりの時を迎え、神の恵みにすっぱりと包まれている秋！子どもたちは、一人一人頭も手も足も力一ぱい使って、元気に、更にたくましく伸びていくうとしています。(丸 翠)

子どもの教育相談室

子どもの自殺、家庭内暴力、登校拒否など、子どもの教育をめぐる諸問題が、新聞の社会面ににぎわしている昨今です。

東京文化幼稚園では、一人一人のお子さまの健やかな成長を願い、少しでもお母様方のよき相談相手になりたいと、子どもの問題では第一人者の石井哲夫先生に御協力

浅間高原宿泊保育

オリエンテーリングに熱中

この夏、浅間高原宿泊保育に「オリエンテーリング」のプログラムを加えてみました。七ヶ所のポイントでカードを捜し、書かれた指示通り歩けば無事帰れ、更にその七枚をうまく並び変えると七文字の熟語が出来るという言葉遊びも楽しめるものでした。

カステラのおやつを頂いた後、練習用のカードで遊び、いよいよ出発です。すぐ一枚目のカードを高原寮の庭より捜し出したチーム

が「まっすぐいくと」と読み始めています、でも順風満帆で進むと思ったら大間違い。第三ポイントでは、小屋周辺に隠れている先生を捜さないとカードをもらえない、第五ポイントでは、全員がじゃんけん先生に勝たなくては先に進めないなどという沢山の仕掛けが次々と待っていました。

さて子ども達の反応はどうだったかと言いますと、途中浅間山がそびえ、田畑が見渡せる自然一色の道で「ホラ見て、大根よ」という折角の先生の声が「早く！カードみつけよう！」という勢いにすっかのみ込まれてしまう程の熱中ぶりが全てを語っていました。

昭和六十年度	
園児募集	
公開保育日	9月27日
	(9・30～11・30)
入園説明会	10月17日、
	(2・30～3・30)
願書受付	11月1日～4日
入園児諸検査	11月5日
三才児男女15名、	
四才児男女35名、	
五才児 若干名	
を募集します。幼稚園案内を配布中です(無料)	
東京文化幼稚園	

観劇会

高女十七年卒
(旧姓須藤) 木村桃子

五、六年前から観劇会には必ず参加させていただいております。親友のモリ(旧姓森川さん)と有楽町の「そごう」前で待ち合せをしてイソイソと出掛けて参ります。

上級生、下級生、の方々と、お会い出来るのも楽しみで、幕間には遠い昔の面影を追いつつ、それとなく探したりしますが、もはや存じ上げる方も少く、チラッとそれらしき方にお目にかかった時はとてもなつかしく四十年前を想い起してはチョッピリ感傷にひたたりしております。学舎を同じくした石井先生の演出された劇はともてスバラシク、普段はテレビ等で拝見している俳優さん達が、目の前でイキイキと演技される姿は、終るのが惜しい程に、又テレビで拝見するよりホッソリしていたり、若々しかったり、ついいられて涙を流したりして楽しく拝見させていただいております。

今年の観劇会で、村上先生の御元氣な御姿に接してもなつかしく存じました。湊先生はじめ関係者の方々に深く御礼申し上げます。これからも年一度の観劇会楽しみを致しております。

同窓会、観劇会、以外にはあま

り皆様方と接する機会もなくこうした時を大事にしていきたいと存じます。又先生方もどうぞ御身御大切に遊ばして下さいませ。

「お忘れもの」

観劇会の際、双眼鏡を紛失された方、お預りしておりますのでお心当りの方は、(〇三三三八一六〇三〇) 横尾まで御連絡下さい。

今は亡き

小久保さんの思い出

高女二〇年卒 大池 光子



(昭和54年2月撮影)

去年の今頃はお元氣で「泉」の發送のお手伝をして下さったり、又、文化祭の売店にもご協力をお願いし、最終日には暗くなるまで学園を廻って歩かれ、「又手伝いに来るから、日が決まったら連絡してね。」とおっしゃってお別れしました。

その後何回お電話をしても連絡がつかず、旅行の好きなあの方の事、泊りがけで出かけられたものと思っておりました処、暫くして

お宅から入院中とのお知らせがあり、手術をなされ、今意識がなくなれば良いとの事で驚き、皆様に連絡という矢先に亡くなられたとの知らせをいただきました。

四、五年前からでしょうか、同窓会の手助けをして下さり、一時は定期券まで求めて通って下さいました。学園とのお縁は深く開校当時から、私が入学した時は購買部におられ、その後は文化アパルトメントや学園事務にも勤められ、学園を愛する事は人一倍強かったと思われました。

一緒に仕事をしても厳しく、時には叱言をいわれ逃げ出した事もありましたが、亡くなられた今は懐しく胸がつかまる思いです。

大層趣味がお広く、特に謡曲絵画鑑賞は造詣深く、御精進でした。博識でよく勉強なさり、皆に色々話を聞かせて下さいました。

又特にお酒が大好きで毎日悠々自適の御様子でしたが、御家族が台湾へ転勤されてからは淋しくて少しもお酒も度を過ぎたのではないでしようか。お孫さんをとて大事にしていらっしやいましたから、本心に信じられない程、さわやかに苦しみもなく旅立ってしまわれしました。一昨年は新井田庄子先生、昨年は小久保さんが亡くなら

れ、開校当時から歴史を知る方々が年々少くなつて大変淋しい事です。本心に御苦勞様でしたと申し上げ、心から御冥福を祈ります。



会長	白井 スエノ	166	杉並区堀の内1-10-6	312-0428	
役員	副会長	湊 く	175	板橋区成増4-21-3	930-6011
		青木 純子	176	練馬区中村3-5-16	999-4212
名	会計監査	板垣 法子	143	大田区池上3-17-4	753-2735
簿	専 門				
	幹事長	藤原 初江	187	小平市花小金井2-755	0424-65-1997
	副幹事長	田村 美知子	181	三鷹市下連雀4-17-26	0422-43-4900
	高 女				
	幹事長	赤木 君江	160	新宿区若葉2-8-7	351-4666
	副幹事長	小堀 一枝	166	杉並区阿佐谷南1-1-40	316-0833
		竹ノ谷 智子	106	港区六本木7-3-8 永谷ビルフラグ六本木318号	405-5271
	短 大				
	幹事長	木村 富美子	410	沼津市西熊堂177-5	0559-21-7185
	副幹事長	中谷 容子	223	横浜市港北区綱島西6-21-19-302	
		小暮 明子	165	中野区上鷺宮1-25-9 森ハイ1-201	314-1706
		牧野 玲子	167	杉並区今川3-4-2	399-1828

医 技					
幹事長	小栗 豊子	112	文京区小石川5-11-9 小石川ビューハレス902	816-6146	
副幹事長	安達 房代	164	中野区東中野3-4-8 桜山ハイソ101号	364-6029	
高 校					
幹事長	小口 幸子	164	練馬区関町南4-1-25	928-6737	
副幹事長	横尾 久子	166	杉並区和田1-70-16	381-6030	
	三雲 保子	166	杉並区和田1-67-17	381-1049	
	萩原 直子	166	杉並区和田2-45-15	381-3842	
小 学 校					
	河村 浩太	166	杉並区大宮1-25-15	313-4796	
総 務					
	大池 光子	164	中野区本町6-41-1	381-4715	
校 内					
	黒沢 教子	中川 悦	白鳥 雅子	小島 圭子	
	森屋 ゆみ子	長岡 文	森本 晴生	野村 和貴子	
	橋本文子	鷺見 美智子	佐伯 かよ子	小川 みゆき	



短大部会
バスで箱根へ

八月の厳しい暑さがぶりかえした九月二日に、短大同窓会では初めてのバス旅行で箱根での部会を開きました。今回は佃・新学長と松本先生、森本晴生先生をお招きし、総勢で三十四人になりました。

朝八時に新宿を発ち、仙石原の湿生植物園を見学してから、箱根プリンスホテルで昼食をいただきました。大村幹事長の開会挨拶で始まり、佃新学長に自己紹介を兼ねてご挨拶をいただきました。

午後は大湧谷に寄る計画をやめて、箱根美術館で壺を見学し、予定よりやや遅れて午後七時に新宿で解散しました。日帰りの旅でしたが、ずっと話のつきることなく楽しい一日になりました。



昭和58年11月2日に学園第二カフェテリアで支部から11人をお招きして支部長会が開かれました。

春島いち子先生

昭和五十八年十月末御逝去なさいました。先生は昭和十一年より二十三年までご在職になり、国語を担当され、ほっそりとしたお身体を何時も和服につつまれ、ほほえみを浮かべて、会釈をされていらっしゃる先生のお顔が目につかびます。心から先生のご冥福をお祈り致します。

理事会・幹事会のうごき

昭和五十八年度
第四回理事会
十二月七日(水)「翠鳳」にて

- 一、学園祭報告・反省
- 二、同窓会入会式について
- 第五回理事会
- 三月十五日(木) 学園にて
- 一、観劇会について
- 二、会計決算・予算について
- 三、年間行事予定
- 四、新入生幹事歓迎会の日時

昭和五十九年度
第一回幹事会

- 四月十八日(水) 学園にて
- 一、新幹事紹介
- 二、昭和五十八年度決算および昭和五十九年度予算
- 三、観劇会について
- 第一回理事会
- 五月二十三日(木) 学園にて

一、新役員紹介及び役割分担

- 二、第一回幹事会の反省
- 三、年間行事計画について
- 四、観劇会について 中間報告
- 五、学園祭について 担当その他
- 六、各部会予定について
- 七、第二回海外旅行について

第二回理事会
七月四日(水) 学園にて

- 一、観劇会報告
- 二、学園祭について
- 三、「泉」中間報告
- 四、第二回海外旅行について

名簿部からのお願い

いつも御協力いただき有難うございます。すでに御承知と思いますが、転居・結婚等で住所変更の

ときは、変更届を必ずお願い致します。行方不明とならぬため、重ねてお願い致します。

年会費の納入も有難うございます。その時 振替用紙裏面には卒業校と整理番号を必ず御記入願います。なにしろ数が多いため台帳整理の時、御記入がございませんと困難ですので、よろしくお願ひ申し上げます。

今回の年会費の振込用紙を同封する方々は、卒業後十年以上というところで、昭和四十九年三月までに卒業された方々です。(昭和五十年三月以後の卒業の方には同封していません。)

浅間高原寮

昭和三十九年に開かれた時は本館、浴室棟、管理棟の三棟だけで



第2回海外旅行

行先	台湾
期間	昭和59年12月25日~28日
費用	15万~16万円(全行程食事付)
詳細は11月5日までに同窓会事業部へお問い合わせください。	

したが、四十二年に宿泊棟「静荘」、四十六年に「南館」が完成しました。昨年は本館を増築し、今年も静荘を増築し、管理棟をこわして新たに「けやき荘」を新築しました。八月十日頃から二十五日頃まで同窓生など学園関係者にご利用いただけます。

編集後記

一写真は「けやき荘」
一 お問合せは学園総務課へ。(一泊二食付三七〇〇円、春と秋は自炊も可)

むやみと寒く、むやみと暑い一年が過ぎます。今年発行を一月繰り上げて十月一日にしました。十一月二日・三日の学園祭の前にお手元に届くでしょう。M 学園にも顔を出しましょう。